

既往 4 洪水の初期損失雨量及び Rsa を用いた昭和 22 年 9 月洪水の流出計算について

第 10 回分科会における依頼を踏まえ、既往 4 洪水の初期損失雨量及び Rsa を用いた昭和 22 年 9 月洪水の流出計算について試算を行った。

昭和 22 年 9 月洪水について、同分科会資料 8 において示された同資料表 1 の算出手順に従い新たな流出計算モデル\*1 によって、既往 4 洪水（昭和 33 年 9 月洪水、昭和 34 年 8 月洪水、昭和 57 年 9 月洪水及び平成 10 年 9 月洪水）の初期損失雨量及び Rsa\*2 を用いて試算すると、八斗島地点のピーク流量は、ここで最も乾燥状態と考えられる 21,063m<sup>3</sup>/s（平成 10 年 9 月洪水の初期損失雨量及び Rsa を用いた値）から、ここで最も湿潤状態と考えられる 22,043m<sup>3</sup>/s（昭和 34 年 8 月洪水の初期損失雨量及び Rsa を用いた値）までとなるが、初期損失雨量及び Rsa について平均的な値\*3 を用いて試算すると、約 21,100m<sup>3</sup>/s となる。

\*1 第 9 回分科会資料 11 参照

\*2 第 8 回分科会資料 8 別添資料 8-1、第 8 回分科会資料 7 別添資料 7-15 参照

\*3 第 8 回分科会資料 11 別添資料 11-1 参照

表 既往 4 洪水の初期損失雨量及び Rsa を用いた昭和 22 年 9 月洪水の試算結果

洪水名	昭和 33 年 9 月洪水	昭和 34 年 8 月洪水	昭和 57 年 9 月洪水	平成 10 年 9 月洪水
ピーク流量【m <sup>3</sup> /s】	21,770	22,043	21,526	21,063
平均的な値を用いて得られるピーク流量（約 21,100m <sup>3</sup> /s）からの相対的差異	3.2%	4.5%	2.0%	-0.2%